



委員会のまとめ

感染対策委員会

委員 長	八木 良子	(医務室 看護師)
	吉田 夏樹	(医務室 看護師)
委員	岡本 好司	(医務室 医師)
	弘内 優帆	(栄養室 管理栄養士)
	幕 良美	(リハビリテーション室 作業療法士)
	竹延 賢志	(北館2階 援助員)
	裕本 知子	(北館3階 援助員)
	近藤 末子	(デイサービス 看護師)
	田中 安奈	(デイサービス 援助員)
	北ノ菌 勇太	(南館2階 援助員)
	田中 純子	(南館3階 援助員)

今年度の目標 「自分が感染しない 人にうつさないための予防の徹底 (マスク装着 手洗い うがい)」

今年度実施した事 (感染対策委員会の定例会議は感染状況に応じた事業活動に沿い感染増加期以降は紙面開催にて対応していきました)

I. 全職員対象にした感染に対するアンケートの実施

職員 (142 名) を対象に感染症対策に関する認識調査を実施し、132 名分 (回収率約 94%) のアンケート回収となりました。

アンケートに回答した全ての職員が感染症対策は必要と感じていることは良かったですが、平成 30 年度の感染対策委員の目標とされ、年間目標としてポスター提示されていたにも関わらず、標準予防策を知らないとの回答もあり周知してもらうことの難しさを感じました。また、甲寿園版の感染症マニュアルに関しても知らない職員がいることも判明し、この結果も踏まえて、見てもらえるための感染症マニュアルにしていくため、II に上げた感染症マニュアルの改訂へ繋がりました。

II. 甲寿園版の感染症マニュアルの改訂

甲寿園版感染症マニュアルの全ての項目に対して見直しと改訂を行いました。

新たに疾患別分野に新型コロナウイルス感染症・疥癬のマニュアルを追加しました。

また分かりやすくするためノロウイルス感染症対策マニュアルにはフローチャートや吐物処理の一連を図式化したものを追加しました。

III. 手洗いチェックの実施

感染症予防において手洗いは基本です。今年度は新型コロナウイルス感染症の予防も正しい手洗いを職員に意識してもらうことが必要でした。洗い残しやすいところや自身の手洗いの癖など意識してもらうため、全職員 (152 名) を対象に 6 月～7 月、11 月～12 月にかけて 2 回実施しました。手洗いチェックの結果は前年度より点数の低下はありましたが、2 回目を行うことで顕著に改善のあるフロアもありました。季節柄の手荒れなどの影響もあり、手荒れケアの大切さも含めて感染症予防に対する意識向上へ繋がっていると感じています。

IV. ロール・プレイングについて

新型コロナウイルス感染症の対策の一環として、職員が集合して密になる可能性のあるロール・プレイングは控えました。

代替えとして、感染対策委員を中心に各部署の職員全員が吐物処理ビデオを視聴しイメージトレーニングができるように働きかけていきました。

また、新型コロナウイルス感染症対策として緊急感染対策会議内で、個人防護具の着脱の練習を行い、練習に参加した職員はフロア職員へフィードバックしてもらうように伝達していきました。職員全員の練習は難しいため、個人防護具の着脱に関連したビデオ視聴も各部署の感染委員を中心に全員が視聴できるよう働きかけを行っています。

V. 感染委員による各フロアラウンド点検について

感染対策委員が、20のチェック項目に基づいて各フロアのラウンドを行っています。

例年は感染対策委員全員で定例会内に行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策で定例会が紙面開催になることも多く、感染対策委員全員でのラウンドは行いませんでした。代替として年度末の3月に各階で所属フロアではないフロア（南2職員は北2フロアをラウンドするといった形）のラウンドを行い、業務を止めずに標準予防策がされているかなどを視認し、一部職員へ質問し確認を行いました。

ラウンドチェック表も新型コロナウイルス感染症対策などにより常時行っている掃除や環境整備用のアルペクトNV-Hの導入もされていることもあり、委員会メンバー全員が見直しを行い、次年度に使用できる内容へ修正を行いました。

VI. 新型コロナウイルス感染症について

今年度は、園長を議長とし、未知のウィルスである新型コロナウイルス感染症に対する対策を緊急感染対策会議にて検討し、甲寿園としての対策を確立していきました。

会議の回数も50回を超えました。新型コロナウイルス感染症対策だけではなく、日常の感染対策の一環として、甲寿園として手指消毒薬を常に個人個人が装着しいつでも消毒できる体制となりました。また、手指消毒液や環境整備用の消毒液も一元管理に変更することで衛生的に管理ができる体制へと変更しました。

ワクチン接種が始まりましたが、変異株の出現や治療法の確立には至っていない現状があります。引き続き油断することがないよう、職員一人一人が感染症予防に努める必要があります。

VII. 今後の課題

2021年度の介護報酬改定では災害・感染症への対策も入ってきます。改訂された甲寿園版感染症マニュアルは運用開始していますが、職員全員が周知できているとはいえない状況ではあります。有事の際にも慌てることなく、職員一人一人がマニュアルを確認し、慌てることなくマニュアルに沿って対応ができることが必要です。そのためには、平常時から感染症マニュアルを確認する習慣が必要で、感染対策委員はそのことを意識して職員への働きかけを行っていきたいと思います。

食事・褥瘡予防委員会

委員長：弘内 優帆、二口 三紀（栄養室 管理栄養士）
委員：岡本 好司（医務室 医師）
伊原 雄子、大木 美由紀（医務室 看護師）
松村 美香（北館3階 援助員） 相見 茜（南館3階 援助員）
今中 明美（北館2階 援助員） 宮田 加奈子（南館2階 援助員）
古澤 ゆかり（デイサービス 援助員）
川原 康稔（生活相談室 介護支援専門員）

令和2年度の食事・褥瘡予防委員会は隔月に1回、計6回開催しました。そのうち4回は紙面開催でした。今年度は食形態の見直しについて取り組み、6つある形態のうち、普通食Aと普通食Bを見直しました。甲寿園の利用者様にとって食べやすく適した形態にするため、どれくらいの大きさ・切り方がいいかを厨房とも協力し、試作を重ね、実際に利用者様や職員にも何度も食べていただき、検討しました。委員の協力もあり、令和3年3月より新たな普通食Aと普通食Bをスタートさせることができました。また、食形態の見直しと関連して、リハビリ職員より食塊形成・スライスゼリーの食事介助方法の研修をしていただきました。専門的な知識の部分をわかりやすく伝えていただき、普段の介助時にとても役に立つ内容でした。

そして、令和元年度の終わり頃から始めた栄養室だよりを今年度も隔月で掲示させていただきました。今後も継続していきたいと思えます。

身体拘束廃止・虐待防止委員会

委員長：柿坂 禎子（事務室 介護係長）
委員：石川 幸男（生活相談室 相談員）
柳瀬 伊都美（生活相談室 介護支援専門員）
吉田 瞳（リハビリテーション室 理学療法士）
高本 竜太郎（デイサービス 援助員）
佐藤 歩（北館2階 援助員）
山下 直子（南館2階 援助員）
中村 裕樹（北館3階 援助員）
岡本 茜（南館3階 援助員）
浜田 美紀代（医務室 看護師）

【令和2年度の委員会について】

身体拘束廃止・虐待防止委員会は隔月に1回、計6回紙面上で委員会を開催しました。

令和2年度は虐待防止に力を入れ、「不適切ケアの意識付けと指摘しあえる環境作りに努める」という目標を立て、部署ごとにも具体的な小目標を立てました。

気になるケアについて職員にアンケートを実施し、出た意見を新聞形式にして閲覧できるようにしたフロアや振り返りアンケートを行ったフロア等積極的な取り組みが多くありました。具体的な目標を立てる事で以前より意識を持ち、考える場面が増えてきています。

令和3年度はフロアごとの取り組みを共有し、委員会が率先して声をかけ進めていきます。

防災委員会

委員長：木村 英樹（南館2階 援助員）
副委員長：嶋田 源（北館2階 援助員）
委員：植山 文雄（北館3階 援助員）
神部 陽介（南館3階 援助員）
空 信次（デイサービス 援助員）
細川 英二（設備用務員室 設備用務員）
二口 三紀（栄養室 管理栄養士）
石原 美香（事務室 介護課長）

【令和2年度の目標】

コロナ禍において、フロアの往来が難しい現状ですが、防災に対する意識を高めると同時に、防災システムの周知が出来るようフロア単体で訓練を実施します。

【令和2年度実施した内容】

6月…委員会で今後の防災に関する取り組みについて

- ・地震に対する訓練の実施
- ・火災報知器の取り扱い
- ・設備部の機器取り扱いの精通

8月…災害食

いざ災害が起こった時に、備蓄品が不足した際の管理場所の確認。おかゆの作り方を栄養士から指導。

【次年度に向けて】

フロアの往来が難しい中でも、防災に対する知識を共有し、全フロアの職員が周知できるよう取り組みます。また今後の展望を随時委員会で議論し、防災委員の責務を全うします。

リスクマネジメント委員会

吉岡 奈央（北館3階 援助員） 渋谷 ひとみ（北館2階 援助員）
西海 優佳（南館2階 援助員） 倉田 由加里（デイサービス 生活相談員）
八木 良子（医務室 看護師） 高川 久美子（生活相談室 生活相談員）
小田 浩美（リハビリテーション室 作業療法士） 日笠 君彦（南館3階 援助員）

令和2年度のリスクマネジメント委員会はコロナ禍の中、対面での委員会は控え、書面での開催とし、年間計6回開催しました。

今年度は、「各部署からの事故（ヒヤリ）を委員会で検証後、検証内容を各部署にフィードバックし事故の再発防止と減少に努める。」という年間目標としました。

委員会での事故の検証・検討等は実際には行えませんでした。報告を行うことで事故の内容を共有し、各フロアで再発防止に向けた取り組みは行えたのではないかと思います。

事故は防ごうとしても起きてしまうのが現実です。しかしその事故を1件でも減らせるように試行錯誤していくことが、本委員会の役割だと考えています。

来年度も事故の減少を念頭に、委員全員で取り組んで行きたいと思っています。

排泄委員会

委員長：伊地知 純平（北館3階 援助員）、行 早苗（南館2階 援助員）
委員：豊浦 健一（南館3階 援助員）、伏見 亜季（北館2階 援助員）
松崎 実由紀（デイサービス 援助員）

令和2年度の委員会は全て紙面会議にて6回行いました。

園全体としての講習会等は残念ながら行いう事は出来ませんでした。フロア内では10月に北2で王子ネピア(株)による研修を行い7名程が参加。

北3ではフロア委員による新人職員対象の研修を行い、各々改善点のアドバイスをしました。

他にも、オンデマンド研修による「介護技術動画マニュアル」（16分程度の動画）を各フロアに資料として配布し、それぞれに活用しました。

今後も各フロアの委員が中心となり、快適な排泄ケアが提供できるよう努めて参ります。

研修委員会

委員長：山澤 真二（北館2階 援助員）
副委員長：川崎 真吾（南館2階 援助員）
委員：和田 宜浩（南館3階 援助員）、田中 宏一（北館3階 援助員）
高本 竜太郎（デイサービス 援助員）、伊賀 かおり（医務室 看護師）
石原 美香（事務室 介護課長）

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の為、フェーズに従い11月以降の園全体での研修は中止としました。また、外部より講師を招く事が出来ず、ネット配信中心の研修となりました。

【令和2年度園内研修】

- ・7/16『感染症の予防とまん延防止』『食中毒の予防とまん延防止』
お茶の水・ネット配信 参加者10名
- ・9/24『プライバシーの保護・個人情報取り扱いの理解』
『倫理法令順守の理解』
お茶の水・ネット配信 参加者11名
- ・10/5『新型コロナウイルス感染症クラスター発生施設として
～悪いのは事業所なのか、感染者なのか～』
医療法人社団緑心会 介護老人保健施設
グリーンアルス伊丹 事務長 塩田 真一郎氏 参加者13名
- ・10/7『園内実践研究発表会』
南館3階「入浴剤による健やかな生活」 田村援助員
栄養室「嗜好調査～より詳しく利用者様の嗜好を知る～」 弘内管理栄養士 参加者19名
- ・10/22『虐待防止の正しい理解』
お茶の水・ネット配信 参加者117名
- ・10/29『虐待発生時の対応』
お茶の水・ネット配信 参加者18名

★ネット配信の『介護虐待を起こさないための基礎研修』4回分を全職員受講。

口腔ケア委員会

委員長：松野 綾 (南館3階 援助員)
委員：菅 太 (南館2階 援助員)
藤原 志穂 (北館3階 援助員)
鉢呂 伊久子 (北館2階 援助員)
安谷屋 名月 (ディサービス 援助員)

- ・2ヶ月に1回→歯ブラシ交換
- ・6ヶ月に1回→義歯ブラシ交換
- ・山口歯科訪問歯科診療 (毎週木曜日)

今年度の目標

全フロアがしっかりと口腔ケアに取り組む

委員会の取り組み

- ・委員会は隔月に1回、年6回開催。今年度はコロナ禍の為、対面での委員会は控え紙面上の会議となりました。各フロア報告、口腔ケアについて検討しました。
- ・山口歯科の口腔ケアを毎月実施していましたが、こちらも紙面上の研修となりました。

○今年度はコロナ禍にあった為、園全体で集まる研修や会議ができませんでしたが、各フロアの委員が軸となり、ご利用者にとってより良いケアを実施できるよう日頃のケアを一生懸命に行い全職員に口腔ケアの重要性を広めていく努力をしました。

来年も引き続き感染予防を行いながら、ご利用者様に快適な生活を送って頂けるよう取り組んでいこうと思います。

サービス向上委員会

委員長：小林 浩司 (事務室 在宅支援課長)
委員：石原 美香 (事務室 介護課長) 柿坂 禎子 (事務室 介護係長)
山澤 真二 (北館2階 援助員) 八木 良子 (医務室 看護師)
高本 竜太郎 (ディサービス 援助員) 日笠 君彦 (南館3階 援助員)
原田 正 (北館3階 援助員) 木村 英樹 (南館2階 援助員)
弘内 優帆 (栄養室 管理栄養士) 柳田 賢二 (生活相談室 生活相談員)

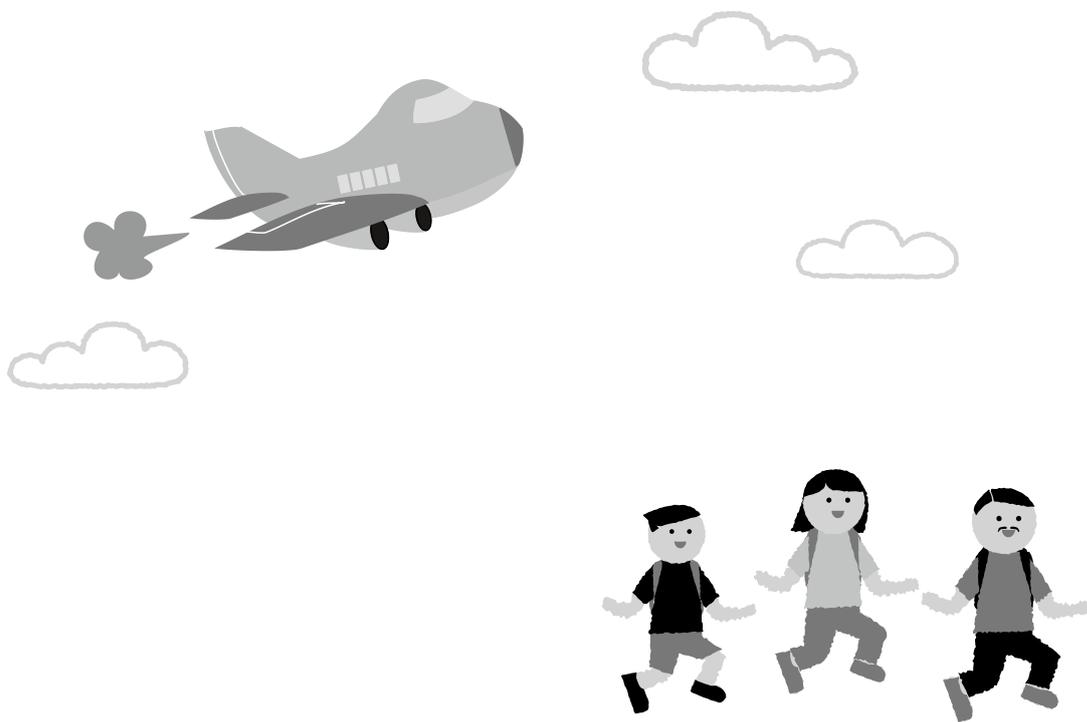
サービス向上委員会は、今年度5回開催しました。うち3回は、感染症対策のため書面回覧・配布という形となりました。委員同士の対話やそのなかでの気づきも委員会運営の中では重要な要素となるので、委員会としての具体的な成果をあげることは難しい1年でした。

今年度の取り組みとして、①苦情やご意見を施設単位で施設として共有し、課題解決のための検討を当委員会で行う②接遇向上(言葉遣いや不適切ケアの是正)に向けての取り組みを行う、ことを掲げました。

①については、苦情受付の状況を毎回の委員会で報告し、他部署での出来事も共有するようにしました。

また、報告書式の記載手順・報告をあげる際の基準等を定め、周知しました。

②については、『「不適切ケア」事例をあげ、なぜ私たちが「不適切」と捉えるかについて法人理念・基本方針にてらして、対話をする』ことに取り組みました。ただし委員会活動としては、先述のとおり対話の機会そのものが不十分となってしまいました。そのようななかでも、「不適切ケア」をわがこととして捉え、チームメンバーに関心を持ってもらえるような「回覧誌」を作成した部署もありました。当委員会としては、これもまた施設全体に共有させていただきました。②に関する課題認識を持ち、当委員会での取り組みをすすめることと決めた矢先に、法人内での虐待事案が明らかになりました。甲寿園として、来年度も引き続き接遇向上に向けた取り組みを継続してまいります。





ボランティアクラブ活動の状況

令和2年度は新型コロナウイルスの影響でボランティアの皆様にご活動していただく事が困難な一年でした。そのような状況の中でもいつもご利用者の事を気にかけて下さるボランティアの皆様には感謝の念に堪えません。甲寿園を支えて下さるボランティアの皆様のほんの一部ですがご紹介させていただきます。

個人・団体名	活動状況
火曜会 代表 土田真理子 様	リネン交換 毎週火曜日・4回 あいあい喫茶・運営 第2・4火曜日
西宮市社会福祉協議会甲陽園分区分 ボランティアセンター 様 (喫茶ボランティア・歌の出前・華の会)	あいあい喫茶・運営 第1・3火曜日 外出付き添い 音楽ボランティア 利用者とのふれあい
カットサークルクローバー 様 代表 岡本 光代 様	理容・美容(散髪) 第1月曜日
森林ボランティア KSC 様	敷地内の樹木の剪定・除草
辯天宗兵庫教区婦人部 様	カット布作り
金光教今津教会 様	カット布作り
用海連合婦人会 様	カット布作り
北夙川ボランティアセンター 様	行事支援・書道活動支援・お手玉
コープ苦楽園福祉サークル 様 コープコスモサークル 様 コープ夙川ゆりの会 様 コープ仁川福祉の集い 様	カット布作り
安井保育園・安井さくら保育園 様	利用者とのふれあい・歌・遊戯
夙川学院短大附属幼稚園 様	利用者とのふれあい・歌・遊戯
国際ソロプチミスト神戸東 様	あいあいホールでの舞台
廣田の杜合唱団 岡崎紘一郎 様 歌声サロン・越木岩	コーラス 年4回
車椅子レクダンス普及会(矢車草の会) 宝塚支部会長 今井 豊彦 様	奇数月 年6回
さくら 悦子 様 (歌手)	歌謡 毎月
山崎 戸始子 様 (舞踊)	第3火曜 舞踊とリラックス体操他
西宮ビデオクラブ 赤松 敏博 様	ビデオ撮影
コーロシンセラ 福岡 知子 様	コーラス
ギターのおじさん 松下 茂 様	歌とギター伴奏
宮水写真クラブ 西野 末雄 様	写真撮影
神戸キリスト栄光教会 様	12月 クリスマス
末日聖徒イエスキリスト教会 様	12月 クリスマス
西宮民踊協会 様	盆踊り大会

個人・団体名	活動状況
西宮カウンセリング研究会 様	お話ボランティア 年4回
竹下 宏美 様	折り紙指導
今井 美子 様	そろばん指導
武衛 俊雄 様	アコーディオン演奏
びんからKenちゃん 野田 健一 様	ギター演奏・歌
竹の子 野崎 竹勇雅 様	津軽三味線・踊り
メゾフォルテ 様	バイオリン・ピアノ・歌
錦織 久 様	抒情歌・懐メロ
福岡 陽子 様	音楽演奏
永戸 勇 様	囲碁、将棋
赤松バレエ団 様	バレエ
森田 治子 様	ピアノと歌（デイ）
甲陽園親子フラサークル 様	フラダンス
西岡 トキワ 様	生活支援
竹内 美希 様	生花
山内 志保子 様	生活支援・散歩介助
杉山 吉秋 様	生活支援・散歩介助

【クラブ活動のご指導】 令和2年度は感染状況を見ながらフロアごとに実施しました。

クラブ名	指導者
書道	村松 和子 様と職員
生け花	【職員】
陶芸	稲松 麻利子 様
七宝焼	【職員】
大正琴	【職員】
手芸	【職員】
編み物	【職員】
書道（デイ）	森井 さや夏 様



令和2年度

苦情相談受付及び解決状況の結果報告



令和2年4月～令和3年3月

苦情受付総数 3件 事業所別苦情受付件数

指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	1件
短期入所生活介護事業所	0件
通所介護事業所	1件
居宅介護事業所	1件
合計	3件

苦情区分

苦情受付方法別	電話 2件	来所 0件	訪問 1件	文書 0件	その他 0件	
苦情分類別	ケア内容 3件	連絡調整 0件	個人の嗜好・選択に関する事項 0件	制度・施策・法律に関する事項 0件	管理運営に関する事項 0件	
対応区分別	その場で回答、即時解決 0件	謝罪 3件	説明 0件	行政機関への伝達 0件	その他 0件	
要因区分別	説明・情報不足 1件	職員の態度 2件	サービスの内容 1件	権利侵害 0件	運営上の問題 1件	その他 0件

※複合する要因の場合、複数でカウントしている

【主な苦情内容と対応について】

1件目は、通所介護事業ご利用者のご家族よりお受けしたものです。送迎時にご家族と面談した際、利用者ご本人がある職員の言葉遣いが気になると話していた、と伺いました。ご家族に面談した職員がその場で謝罪するとともに、該当するであろう職員に聞き取りを行いました。新規のご利用者であり、ほぼ接点もなく思い当たる場面はなかったものの、不快に感じられたという事実は真摯に受け止め、今後の対応に留意していくこととしました。

居宅介護事業所では、行政からご利用者宅に送付された書類内容の問い合わせに対するケアマネジャーの対応について、ご利用者ご家族から指摘を受けました。担当ケアマネジャーが不在だったため代わりに対応した職員が、お話しの内容から「社会福祉法人減免」に関する書類ではないかと判断して回答しましたが、その後ご家族が市の担当課に問い合わせをしたところ、他の減免に関する書類だったというものです。十分な情報を得ずに判断を誤ったため、いったん間をおき調べたうえで回答するなど冷静な対応が必要でした。

3件目は、特別養護老人ホーム入居者のご家族からお電話でご指摘をいただきました。ご家族が、入居者の病院受診に付き添われた際、衣類や車いすの汚れが気になったと話され、電話対応をした相談員が対応の不備について謝罪しました。受診前の身だしなみをチェックする担当者も決めています、十分な確認ができていなかったと考えられます。ご家族からのご指摘があったことをフロアで共有し、担当者による身だしなみの確認について再度周知徹底をはかりました。



永年勤続・ボランティア活動表彰

令和2年度表彰・受賞

兵庫県老人福祉事業協会 兵庫県老人事業協会会長表彰

6月1日：古澤 ゆかり・空 信次・神田 貴身予

全国老人福祉施設協議会 全国老人福祉施設協議会 20年表彰

10月1日：中野 由理・石原 美香・日笠 君彦・伊原 雄子

甲山福祉センター理事長 法人永年勤続表彰（20年）

11月15日：中野 由理・木村 英樹・濱田 美紀代

甲山福祉センター理事長 法人永年勤続表彰（10年）

11月15日：細田 文明





寄付一覧

令和2年度4月～

令和2年度寄付金台帳

	受領日	氏名(代表者名または個人名)
1	4月6日	岡本 好司様
2	4月8日	岡本 好司様
3	5月1日	舩次 和子様
4	5月15日	岡本 好司様
5	6月22日	岡本 好司様
6	7月6日	東川 フジ子様
7	7月18日	金光教今津教会様
8	9月4日	岡本 好司様
9	10月2日	岡本 好司様
10	10月29日	岡本 好司様
11	11月4日	市川 裕子様
12	11月4日	辯天宗兵庫教区婦人部様
13	11月30日	岡本 好司様
14	12月23日	岡本 好司様
15	1月19日	根木 純子様
16	2月3日	岡本 好司様
17	2月16日	平野 管子様
18	2月19日	岡本 好司様
19	3月10日	内山 博司様
20	3月31日	岡本 好司様

令和2年度寄付物品

	受領日	氏名(代表者名または個人名)
1	6月6日	東様
2	6月9日	八谷様
3	7月2日	登田 二三枝様
4	7月6日	ひまわりサークル様
5	7月10日	兼本 百合子様
6	7月15日	苦楽園福祉サークル様
7	7月26日	矢崎 有紀様
8	8月18日	苦楽園福祉サークル様
9	9月9日	ゆりの会様
10	12月2日	ひまわりサークル様
11	12月4日	駿河美容院様
12	12月10日	阪本 輝雄様
13	12月14日	楽友会様
14	12月23日	㈱小西印刷所様
15	2月26日	山下 享子様



職員の状況

職種別職員数

職種別職員数	正規職員	臨時職員 嘱託職員	パート職員
園長	1		
課長	2		
医師		4	
事務員	1	1	1
相談員 (特養・ショート・デイ)	6		
看護師	6		4
准看護師	2		1
介護支援専門員(特養)	1	1	
介護支援専門員(居宅)	2	2	
リハビリ室 (作業・理学療法士)	6		
リハビリ室補助			3
援助員 (介護福祉士)	47	5	8
援助員 (社会福祉士・主事任用)	1	1	
援助員 (准看護師・保育士・ヘルパー2級・初任者研修終了)	3	4	6
援助員(無資格)	3	2	
援助員補助			7
管理栄養士	1		1
設備・運転手・通院補助		4	6
合計	82	24	37

男女構成

令和3年3月31日現在

男性	50
女性	93
合計	143

職員の年齢構成

年齢層	～25	26～30	31～35	36～40	41～45
人数	9	9	10	20	18
年齢層	46～50	51～55	56～60	61～	合計
人数	12	15	13	37	143

職種・部署別平均勤続年数

職種	人数	平均勤続年数
園長	1	21年 1ヵ月
課長	2	12年 4ヵ月
事務員	3	4年 10ヵ月
相談員	6	16年 3ヵ月
医師	4	12年 11ヵ月
看護師・准看護師	13	6年 5ヵ月
介護支援専門員	6	8年 6ヵ月
リハビリ室 (OT・PT)	6	8年 4ヵ月
リハビリ室助手	3	7年 4ヵ月
援助員 (介護福祉士)	60	9年 9ヵ月
援助員 (社会福祉士・主事任用)	2	9年 11ヵ月
援助員(その他)	18	8年 7ヵ月
援助員補助	7	7年 7ヵ月
管理栄養士	2	5年 11ヵ月
設備・運転手・通院補助	10	7年 2ヵ月
全体	143	10年 5ヵ月